

# ふしみサラダボール子育て情報

「協働子育ての役割」

令和6年9月11日号

板橋富士見幼稚園



## 両親の緩衝性

男女平等参画社会と言われて早30年が経過しました。

近年、子育てをしながら働く女性も多くなり、ワークライフバランスを保つ中で、男女の役割も大きく変わり、共に家事育児を担い家庭生活の充実を図れるようになってきています。

そこで、今回は、子どもから見た両親の役割について考えてみましょう。

まず、子どもにとって乳児期の第一義者は母親になります。そして生後半年から1年が経過したころから、父親の存在を顕著に感じるようになってきます。だんだんと自我が芽生え始めていく頃からは、両親の役割について「追い手」と「受け手」の関係を大切にしていきたいと思います。

「叱り役となだめ役」など、時に明確化することも大事になります。時には、母親／父親にしか出来ないことなどを、「パパにしてもらったら」「それはママが上手だから…」というように、互いに子どもと関わりながら促し、「存在感」や「安定感」を明確にしていくようにしたいものです。

そうすることにより、互いの子育ての価値観が子どもに届き、子どもが自己の欲求をその都度 安心して伝えることが出来るようになります。

成長するにつれて、子育ても手がかからなくなっていくと思いますが、ご両親で子どもの成長を話し合いながら支え合い育てていくことで、安定した家庭が生み出されていくことと思います。

### 【敬老の日に向けて…】

おじいちゃん・おばあちゃんに書いたお手紙を、年長さんが代表して近所のポストに投函しに行きました。

